

パラオ自然観察会実施要領

1. 実施日：2019 年 1 月 13 日（日）～1 月 19 日（金） 5 泊 6 日（機中泊含む）

2. 参加者：19 名（田中先生・スタッフ含む、敬称略）（男性 5 名 女性 14 名）

阿部 聖子	岩佐 順子	岡 里美	岡崎 道雅
岡崎 泰代	奥野 嘉子	高橋 競	西田 フミ子
野崎 喜美子	日置 宣子	東脇 和子	平野 すえこ
	間瀬 茂子	松本 多枝	山田 一子
田中 克	岩佐 達	藤田 益栄	藤原 雄平

3. 参加費：35 万円程

- ① 阪急交通社支払分（往復航空券代、ホテル宿泊代、関西空港使用料、出国税・空港税、サーチャージ料、バス代金・食事代金、海外旅行傷害保険代金など計 26 万円程）

12/15 頃、阪急交通社より各自宅宛てに請求書が届きますので、12 月中に直接、阪急交通社の指定口座に振り込んで下さい。

- ② 自然学の口座に振込分（その他費用分 9 万円）

12/8 配布の振込用紙で 12/20 までに振り込んで下さい。

4. 集合場所：関西空港 4F 国際線団体受付カウンター前 1 月 13 日（日）9 時集合《時間厳守》

5. 日程

⇒ 「日程表」（別紙）

6. 地図

⇒ 「地図」（別紙）

7. 宿泊

- ①1/13：パレイシアホテルパラオ（パラオの中心地コロールの中心部にあるパラオ 3 大ホテルの 1 つ、パラオで一番背の高い建物です。空港より 15 分）

- ②1/14～16：民泊（アイライ州 Ngetib 村の民家に分宿の予定、連泊）

8. 班分け・・・第 2 日目から第 4 日目までの 3 日間は、A 班、B 班の 2 グループに分かれて行動します。

- ① 小グループの方が現地での行動に適していること、安全管理の目配りがしやすいこと、などの理由によります。

- ② 行動の順は、A班、B班で異なりますが、3日間では同じ場所を訪ね、同じ体験をします。
- ③ 昼間は分かれての行動になりますが、宿泊場所は同じエリアですので夜は顔合わせできます。
- ④ 3日間、同じ宿泊場所となります。昼間は、大型荷物は預けて、サブザックでの行動となります。
- ⑤ 各班1～2名の通訳がつきます。鳥羽の海島遊民クラブの江崎貴久さんも通訳として協力していただきます。
- ⑥ 第2日目、朝8時にパレイシアホテルパラオへ迎え車が来ます。当日のユアーに不必要な荷物は別車でホームステイ先に運送します。

9. 服装・持ち物

- ① 現地の気候は、平均気温が28度前後で湿度は高め。服装は日本の夏の服装（短ズボンにTシャツのような）で問題ありません。但し、トレッキングの時は、山林の中を歩くこともありますので、虫予防や、擦り傷予防に長シャツ・長ズボンがベターです。
建屋に入った時の冷房対策として上に羽織るものを常時準備しておいて下さい。
- ② トレッキング中、石畳の上は滑りやすいので、靴はフェルト底のシューズが良いですが、マリーンスューズとスニーカーの使い分けでも良いです。水に入る機会が多いのでマリーンスューズかゴム草履等を準備して下さい。水着ももちろん準備して下さい。
- ③ 帽子、バスタオル、タオル、洗面用具、シャンプー、石鹸、日焼け止め、虫よけ、常備薬、胃腸薬、かぶれ・虫刺され薬、バンドエイド、水筒（ペットボトルでの代用も可）、懐中電灯 or ヘッドランプ、折りたたみ傘、ビニール袋（荷物の防水用にジップロックにも便利）、簡易ハンガー（あると便利）、サングラス（必要な方）、名札（呼び名をローマ字表記）、他

10. 連絡事項

- ① 日本は真冬でパラオは夏気候、気温が急変しますので体調管理には十分ご注意願います。
- ② 時差はありません。日本時間と同じです。（経由地のグアムは時差1時間、注意！）
- ③ パラオでは生水は飲めません。ミネラルウォーターを購入して飲んでください。
- ④ 両替所：パラオ空港内には両替所がありません。ホテルも無いと聞きました。コロールの中心街にはありますので、第5日には両替が可能です。
(最低限の現金、低額紙幣を中心に\$50位を日本で両替しておくとう安心です。)
- ⑤ パラオにはチップの習慣はありませんが、ホテルだけはチップを渡すのが慣例となっているようです（\$1）。第1日目のみがホテル宿泊となります。3日間の民泊場所には小さな商店があって、水やビール、おやつなどは購入できます。
- ⑥ 民泊ではシャワーに湯は出ません。気温が高いので水で問題ありませんがご了承ください。
- ⑦ トレッキング中、木や植物のかぶれに注意して下さい。むやみに触らないようにして下さい。
水中ではクラゲに刺されないよう注意ください。
- ⑧ 料理は、タロイモ、キャッサバ、魚、エビ、カニ、鶏肉などが主な食材となります
- ⑨ ココナッツミルク、ココナッツジュースがよく出ます。ココナッツはお腹が緩くなる場合がありますので注意願います。

- ⑩ 第1日目、及び第5日目は阪急交通社の現地添乗員が案内します。日本から同行の添乗員はおりません。
- ⑪ 阪急交通社の海外旅行傷害保険に未加入の方も、他の保険に加入しておくことをお勧めします。
- ⑫ 第1日目の夕食はグアム空港で乗換待ち時間の間に各自で食事して下さい（円、カード使えます）。

1 1. その他

- ①参考資料： 阪急交通社より配布の「渡航準備のご案内」、及び「パラオの概要」に目を通して頂いて下さい。
- ②班メンバー割、及び宿泊時の部屋割りは後日決めさせていただきます。

1 2. 担当スタッフ

藤原 雄平 (090-8989-4076)
藤田 益栄 (090-9628-0914)
岩佐 達 (080-3137-2985)

以上

<参考> グアム空港内施設

○免税店・・・少ない。一番大きいのがロッテのお土産屋

○喫茶店

○フードコート

- ・てんてこ舞（うどん、ソバ、ラーメン、お茶漬け）
- ・バーガーキング
- ・ドミノピザ
- ・ウィーナーシュニッツル（丼物、ファーストフード）

<参考>

マラカル島・・・コロール島の南西にあり、MINATO BASHI（ミナト・バシ）で結ばれている。

○パラオ水産試験場

海洋資源の研究を行っている水産試験場。絶滅の危機にあるシャコ貝やウミガメなどの養殖、研究がなされている。

日本から派遣されて試験場で研究指導されている興世田（よせた）農学博士や曽根氏からオオシャコ貝養殖などの説明をしていただく予定です。

コロール島…島の中心地コロールは旧首都で、今もパラオの中心地で、国民の大半がここに住んでいる。

○エピソン博物館

1999年に開設された博物館。土器、石器、日本人の遺品などパラオの歴史・文化遺産が展示されている。2階にはギフトショップとレストランがある。

○パラオ水族館

2001 年、日本の協力により、サンゴ礁に関する研究と教育のために開設。パラオ島の成り立ちから始まり、リーフ外海の様子なども再現されている。

○シニア・シチズン・センター

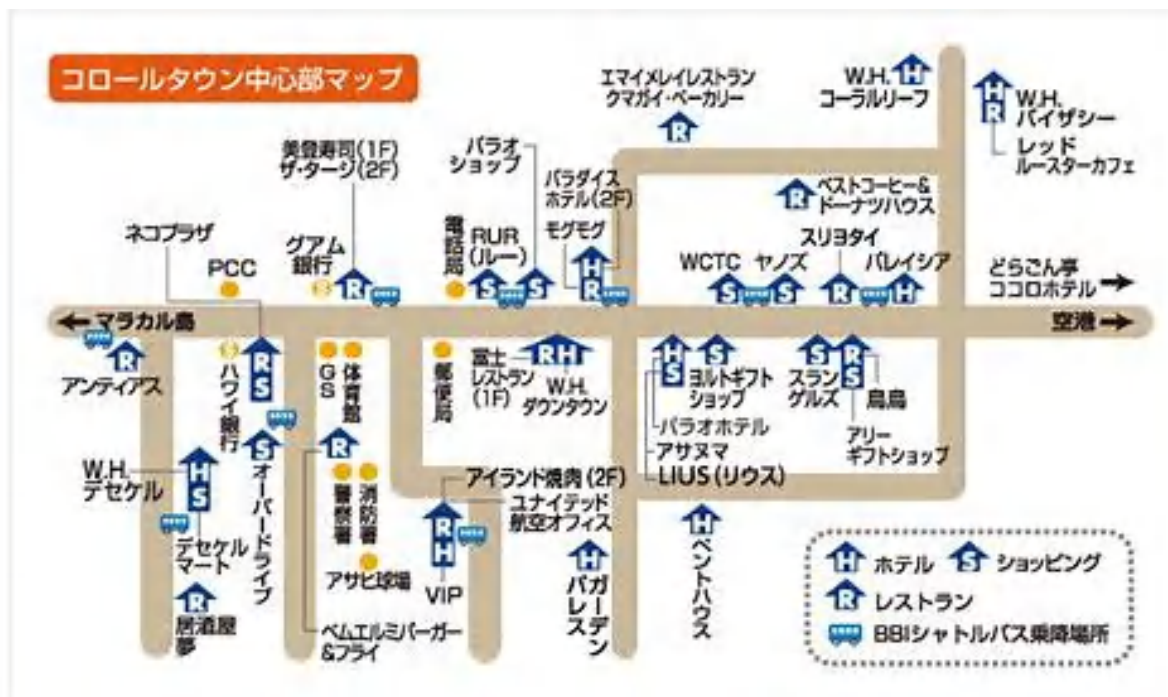
老人会の主に女性たちがバスケットやバッグを編んでいる。ギフトショップが併設され、老人たちの作品やストーリーボード、壁飾り、貝細工などが展示・販売されている。

○パラオコミュニティカレッジ

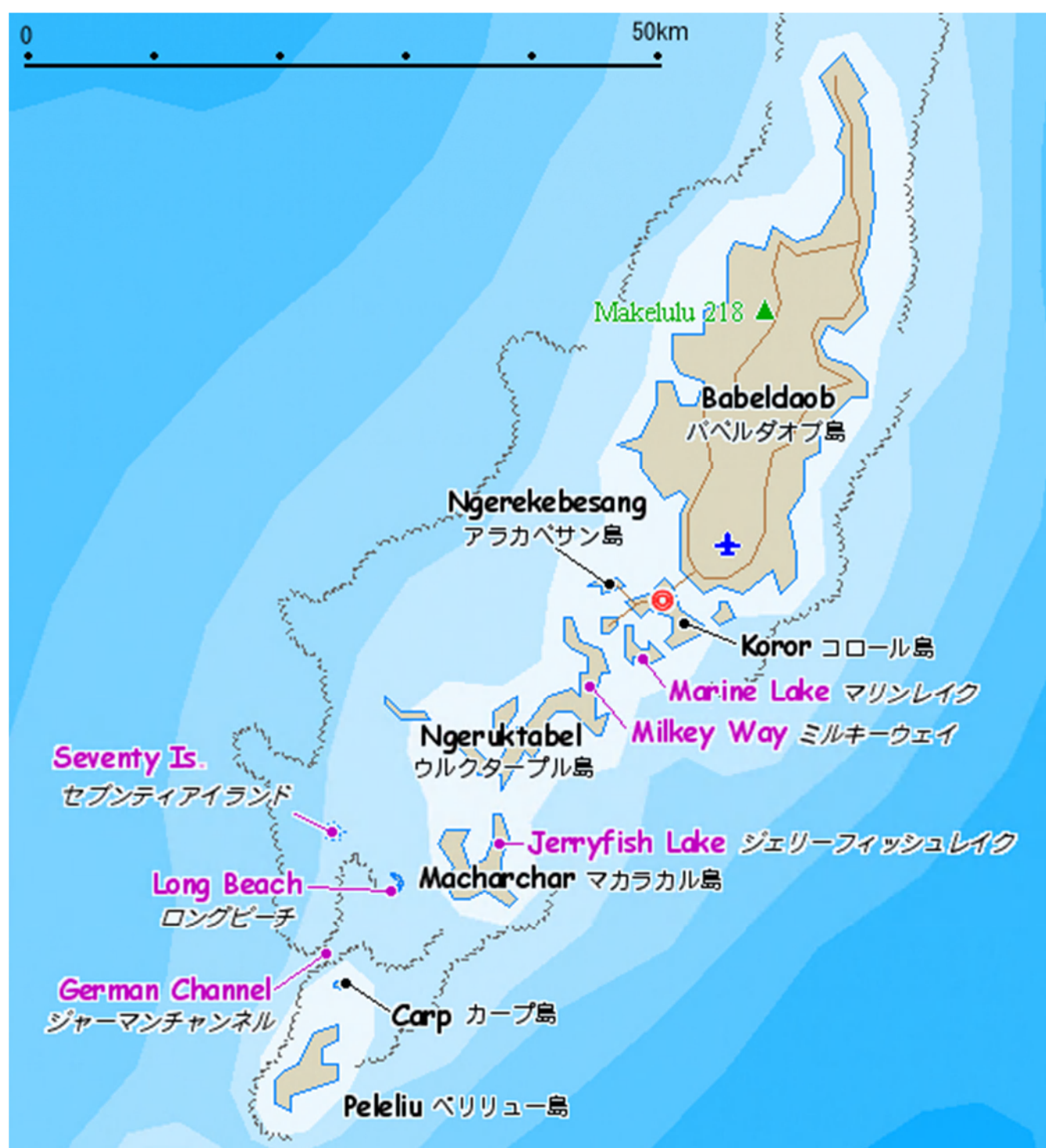
学校の前にプリンス・リー・プーの像が立っている。彼は、コロールの酋長の息子で、1783年に座礁した英国船に伴われて初めて英国に渡ったパラオ人。

○ペラウ（パラオ）国立博物館

1955 年設立の小さな博物館。戦前は日本の気象観測台があった所。伝統的な木彫りのストーリーボード、民族衣装、生活用具などの展示がある。中庭には日本・パラオの平和友好記念碑など。



<地図：パラオ共和国全図>



<地図：バベルダオブ島>

